平成１９年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校２年　数学　出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点			
							数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量，図形などについての知識・理解
①	1	(1)		数と式　２年	A (1)ア　整式の加法，減法	簡単な整式の減法の計算ができること。			○	
②		(2)		数と式　２年	A (1)ア　多項式の計算	多項式と数の除法の計算ができること。			○	
③		(3)		数と式　２年	A (1)ア　整式の四則計算	単項式の乗法・除法の計算ができること。			○	
④	2	(1)		数と式　２年	A (2)イ　連立二元一次方程式	連立二元一次方程式を解くことができること。			○	
⑤		(2)		数量関係１年	C (1)ウ　反比例の式	反比例を式で表すことができること。			○	
⑥		(3)		図形　１年	B (2)ア　空間における直線の位置関係	ねじれの位置の意味を理解していること。				○
⑦		(4)		数と式　２年	A (1)ウ　目的に応じた式の変形	等式を目的に合うように変形することができること。			○	
⑧		(5)		図形　１年	B (2)ウ　柱体の表面積	円柱の表面積について理解していること。				○
⑨		(6)		数量関係１年	C (1)エ　比例の活用	比例の考え方を活用して，問題を工夫して解決する方法を考えることができること。		○		
⑩	3	(1)		数と式　２年	A (2)イ　連立二元一次方程式の利用	数量関係を二元一次方程式で表すことができること。			○	
⑪		(2)		数と式　２年	A (2)イ　連立二元一次方程式の利用	連立二元一次方程式を利用して解く問題をつくろうとすること。	○			
⑫		(3)		数と式　２年	A (2)イ　連立二元一次方程式の利用	連立二元一次方程式を用いて，問題の解決を考えることができること。		○		
⑬	4	(1)		数量関係２年	C (1)イ　一次関数のグラフ	一次関数のグラフの読み取りについて理解していること。				○
⑭		(2)		数量関係２年	C (1)イ　一次関数の式とグラフ	一次関数のグラフから，直線の傾きを求めることができること。			○	
⑮		(3)		数量関係２年	C (1)イ　一次関数の式とグラフ	一次関数のグラフを利用して，条件に合う解を考えることができること。		○		
⑯	5	(1)		図形　１年	B (2)イ　空間図形の構成	柱体と錐体について理解していること。				○
⑰		(2)		図形　１年	B (2)ウ　錐体の体積	錐体の体積の求め方を工夫して考えることができること。		○		
⑱	6	(1)		数と式　２年	A (1)イ　文字式の利用	事象の中の数量の関係に規則性を見いだそうとすること。	○			
⑲		(2)		数と式　２年	A (1)イ　文字式の利用	数量の規則性について，文字を用いた表し方を考えることができること。		○		
⑳		(3)		数と式　２年	A (1)イ　文字式の利用	数量の関係をとらえるために，文字式を利用して考えることができること。		○		